

タイトル		
活性化部分トロンボプラスチン時間の検査方法		
技術分野	利用分野・適用可能分野	情報メモ
<input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療機械・装置 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	医療機関、血液検査機器メーカー	別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見学: <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等/出願日/出願人)		関連特許番号
出願番号: 特願2005-160218 出願日: 2005年5月31日 出願人: 学校法人 久留米大学		
目的・効果・特徴		
<p>【目的】高ヘマトクリット患者検体の活性化部分トロンボプラスチン時間検査が簡単かつ迅速にできる検査方法。</p> <p>【効果】検査の簡単化及び迅速化、NCCLS補正を行うために必要な複数回採血による患者に与える精神的、肉体的負担を軽減。</p> <p>【特徴】高ヘマトクリット患者検体モデルにおいて、0.030mol/L以上～0.040mol/L以下のカルシウムイオン供与体を含む塩化カルシウム水溶液を第2試薬として使用し正確な凝固時間を測定することを特徴とする。これは、3.13%クエン酸ナトリウム真空採血管(黒2mL採血管)を用いて採血した高ヘマトクリット患者検体でも検体に対しNCCLSの操作をすることなく簡単及び迅速なAPTT検査を可能とするものである。</p>		
技術概要		
APTTを計測すべく第2試薬として0.020mol/Lの塩化カルシウム水溶液を用いた場合、そのときの凝固時間が基準値を超えて異常値を示す高ヘマトクリット患者検体モデルに対し、0.030mol/L以上～0.040mol/L以下の塩化カルシウム水溶液を用い凝固時間を測定する。この中で、0.035mol/L塩化カルシウム水溶液が検査値偽延長防止に優れていた。		
図・特記事項・その他		
参考論文: 高濃度塩化カルシウムによる活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)補正に関する研究 -高ヘマトクリット検体モデルを用いた検討- 久留米大学臨床検査部 金原正昭, 田代恭子, 常盤光功, 東谷孝徳, 高木基成, 佐川公矯 検査血液学会雑誌 第7巻 第1号p39～43 2006 Thrombosis Research (2008) 121, 781–785 Usefulness of high-concentration calcium chloride solution for correction of activated partial thromboplastin time (APTT) in patients with high-hematocrit value Masaaki Kanahara , Hisashi Kai, Takashi Okamura, Toyofumi Wada, Kenji Suda, Tsutomu Imaizumi, Kimitaka Sagawa		